

可燃ごみ及び資源物の分別排出調査結果

令和元年6月に町環境委員が実施した可燃ごみ及び資源物の分別排出調査の結果をまとめると次のような結果となりました。調査結果ではこのような数値となりましたが、なかには分別が徹底されていない集積所も見られます。一人ひとりガルールを守り、ごみの正しい出し方、ごみの減量化を心がけるようお願いします。

■可燃ごみ(主な状況及び意見)

- ・ 雑紙・プラ容器の混入が見られる。
- ・ 汚れたプラがよく見られる。(洗ってプラ容器に出すよう指導)
- ・ 土(処理困難物)の混入が確認された。
- ・ シュレッターごみが可燃ごみに出されている。

可燃ごみ調査結果 (調査した集積所 87箇所、袋数 3,797袋)	適正割合
生ゴミ等の厨芥類は混ざっていないか?	98.1%
リサイクル可能な紙類は混ざっていないか?	82.2%
プラ容器は混ざっていないか?	91.3%
不燃ごみ(燃えないごみ)は混ざっていないか?	98.5%

■資源物(主な状況及び意見)

- ・ スプレー缶や飲料以外の空き缶の混入が見られた。
- ・ 雑紙の分別は少数。雑紙が資源物になることがまだまだ認識されてない。
- ・ 袋が半透明でなく白色で中身が見えないものがあった。
- ・ ダンボールが縛られておらず、バラバラの状態に出されている。
- ・ ビン・缶・ペットボトルのフタやラベルがついたままになっている。

資源物調査結果 (調査した集積所 63箇所)	適正割合
ペットボトルのラベルやキャップは外してあるか?	94.9%
空きビンのフタは外してあるか?	95.8%
ビニール袋に入ったままコンテナに出された資源物はあるか?	97.9%
缶詰や粉ミルクなど不燃ごみが混ざっていないか?	97.1%
古布に破れや汚れのある衣類が混ざっていないか?	98.6%

※雑紙類も資源物として出してください。

1. 雑紙を出す際には、ひもで十文字に縛る。細かい雑紙があっても、大きい雑紙で包み込んでからひもで縛ると、きれいに包むことができます。
2. 封筒や紙袋など、紙でできた袋に入れて、飛び散らないようにひもで縛って口を塞いで出してください。
3. シュレッター紙については、半透明または透明の袋に入れても出すことができます。
4. 雨の日は、雑紙を濡れないようにビニール袋で包んでください。

※スプレー缶、ガス缶は使い切り、穴をあけ、他の不燃ごみと別の袋に入れて出してください。